

しまね いきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<http://www.teiju.or.jp/>

2017

8

月号 Vol.112



今月の見どころ

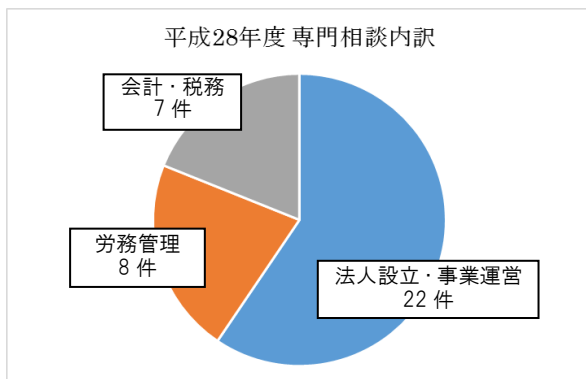
- P1.「地活っちゃんがいく！」会計・労務・法人設立など無料で相談！専門相談制度
- P2.NPO事務局セミナー、地域づくり応援助成事業審査会 第3回“農業・農村はカッコいい！”和歌募集

P3.助成金・イベント情報

P4.島根で頑張る人
土江こども神楽団 榎 義行さん

第13回 地活っちゃんがいく！ 会計・労務・法人設立など 無料で相談！専門相談制度

無料で専門家にご相談いただける「専門相談」をご存知ですか？会計や労務、法人設立前の定款チェックなど、内容にあわせて4分野の専門家である相談員がご相談に応じる制度で、随時受け付けています。実際にどんな相談があるのか、どうやって申し込めばいいのか、さっそく見てみましょう！



<よくあるご相談>

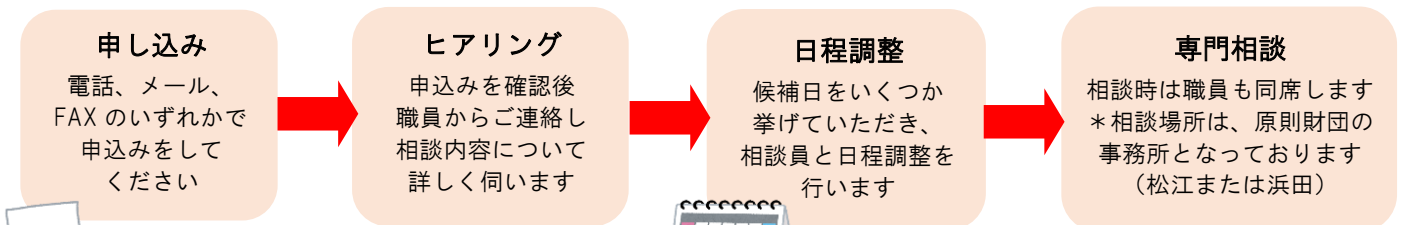
Q.任意団体ですが、収益事業を行っています。法人税の支払いの義務について、詳しく教えてください。

Q.今後アルバイトを雇用しようと思っています。労務上、どのような手続きが必要になりますか？

Q.団体の法人化を検討しています。NPO 法人と一般社団法人ではどのような違いがありますか？

*昨年度は計 37 件の相談があり、そのうち 6 割近くが法人設立・事業運営に関する内容でした。経営計画・商品企画に関する相談はありませんでした。

<相談までの流れ>



※FAX をご利用の場合は、定住財団の HP の「地域づくり・NPO 支援」をクリックし、「専門相談・訪問相談」ページから申込書をダウンロードしてください。
<http://www.teiju.or.jp/local/?senmon>



※急な日程にはご対応できない場合がありますので、なるべくお早めにご相談ください。(相談希望日の 2、3 週間前)
また、松江事務所で相談を受けられる場合は駐車場代が自己負担となります。ご了承ください。



その他の支援メニュー



財団の専門相談員を派遣する「専門相談」の他にも、団体の課題解決のために外部アドバイザーを派遣する「地域づくりアドバイザー派遣」制度があります。(講師への謝金と旅費の一部を財団が負担)。こちらも随時受け付けていますので、まずはお気軽にお問い合わせください♪
例) 地域の特産品を使った商品開発のため、料理研究家の〇〇さんにアドバイスをいただきたい！など
※一般的な講演会に類するものは対象外となります

財団からのお知らせ

すぐに役立つ。ずっと役立つ。

NPO法人事務局セミナー&事務力検定

事務力に不安を感じている方はもちろん、十分理解しているという方も、初心に帰ったつもりで受講してみませんか？セミナーは受けられないけど、腕試しに検定だけ挑戦するという方も大歓迎です。事務力を磨いて、組織全体のレベルアップを目指しましょう！



講師：加藤 彰子氏
NPO法人
岡山NPOセンター

	テーマ	松江会場	浜田会場
1-a	定款・登記手続き	8/1 (火) 9:30-12:30	8/2 (水) 9:30-12:30
1-b	雇用・給与計算	8/1 (火) 13:30-16:30	8/2 (水) 13:30-16:30
2-a	NPO会計	9/5 (火) 9:30-12:30	9/6 (水) 9:30-12:30
2-b	決算事務・所轄庁手続き	9/5 (火) 13:30-16:30	9/6 (水) 13:30-16:30
検定	*受験料 1,000円 *検定対策！直前勉強会も開催	10/6 (金) 18:30-20:00 対策勉強会 17:00-18:00	10/5 (木) 15:00-16:30 対策勉強会 13:30-14:30

- 場所 松江セミナー：松江合同庁舎（8/1は601号室、9/5は603・604会議室）
松江検定：ふるさと島根定住財団大会議室、浜田セミナー&検定：いわみびらっと会議室1・2
- 持ち物 筆記用具、電卓 ※午前・午後とも参加の場合は、昼食をご用意ください

平成29年度第1回地域づくり応援成事業(事業化) 公開プレゼンテーション審査会

日程：8月4日(金) 会場：松江テルサ4階大会議室

地域づくりに関心のある方、今後申請をお考えの方など、どなたでもご覧いただけます。入場無料・出入り自由ですので、ぜひお立ち寄りください！

●申請団体一覧

	団体名	事業名
経済振興型	NPO法人プロジェクトゆうあい(松江市)	PCリサイクルステーション開設による新たな障がい者就労の場創り事業
	吉栗ドリーム(出雲市)	食文化を通じた雇用創出と農産物の好循環
	出雲ロケーションオフィス(出雲市)	ロケーション誘致活動を通じた地域の魅了化プロジェクト
	奥出雲やまなみファーム(奥出雲町)	命とふれあい泊まれる牧場化事業
公益重視型	NPO法人わきあいあい(浜田市)	自伐型林業による地域活性化プロジェクト
	合同会社 Design office sukimono(江津市)	クリエイティブクラス誘致のためのシェアハウスプロジェクト

- プログラム
 - 11:00~12:00 プレゼンテーション(公開)
 - 12:00~13:00 休憩
 - 13:00~14:30 プレゼンテーション(公開)
 - 14:30~14:40 休憩
 - 14:40~15:50 審査・採点・審議(非公開)
 - 15:50~16:20 結果発表・講評(公開)

第3回“農業・農村はカッコいい！”和歌募集開始

島根は和歌発祥の地！

募集期間

6月15日～
9月20日

*当日消印有効

入賞者8名には、12月3日(日)に行われる最終審査会に参加していただきます。
会場：雲南市古代鉄歌謡館(島根県雲南市大東町湯石84)
※会場までの交通費等は支給します

地域おこし協力隊、Uターン者、農業研究生、漁師、伝統文化に携わる若者、農山漁村で暮らすみなさんなど...

応募対象

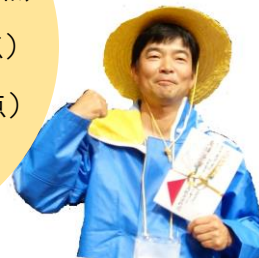
若者の農村定着を促す趣旨から
概ね50歳以下

*詳しくはWEBで！

賞金・賞品

最優秀賞 10万円(1点)
優秀賞 5万円(2点)
秀作 1万円(5点)

その他、入賞者全員に島根県の特産品プレゼント！



昨年最優秀賞に輝いた笹鹿さんの作品
『選別の縹のぬめりに夏を知る
ゴム手袋の青空まぶし』

1名3首まで
ご応募可能！

今月の和歌

振り返り口に添えし二本指モーター静まる休憩(たばこ)の合図(サイン) (兵庫県伊丹市 藤井健太さん)
第2回農業・農村はカッコいい！和歌募集 秀作作品



児童養護施設・里親家庭の 高校生進学応援金

- 締切日：平成29年8月10日(木) 当日消印有効
- 対象事業：児童養護施設や里親家庭で生活し、2018年4月に大学、短期大学、専門学校への進学を希望している高校3年生(高卒認定合格見込み者を含む)
- 助成金額：入学金および学生応援金として年間60万円(最大240万円、ただし6年生大学は、最大360万円)
- 問合せ先：朝日新聞厚生文化事業団「進学応援金」係
TEL:03-5540-7446 FAX:03-5565-1643
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3624>



(公財)イオン環境財団 2017年度第27回環境活動助成

- 締切日：平成29年8月20日(日) 消印有効
- 対象団体：国内外でフィールドワークを伴う環境活動に取り組む団体
- 活動分野：植樹・里地・里山・里海の保全、森林整備、野生生物の保護、砂漠化防止、絶滅危惧生物の保護、湖沼・河川の浄化
- 助成金額：総額1億円
- 問合せ先：(公財)イオン環境財団
TEL:043-212-6022 FAX:043-212-6815
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3641>



2017年度 日本山岳遺産

- 締切日：平成29年8月31日(木)
- 対象団体：特定のももしくは山岳エリアにおいて、次世代育成活動、山岳環境保護活動、安全登山啓発活動などの目的に沿った活動を3年以上行っている団体
- 対象活動：次世代育成、山岳環境保全、安全登山啓発
- 助成金額：総額200万円(予定) * 1団体あたりの上限は定めない
- 問合せ先：日本山岳遺産基金 事務局
TEL:03-6744-1900 FAX:03-6744-1928
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3640>



SBI子ども希望財団 平成29年度助成金

- 締切日：平成29年8月31日(木) 必着
- 対象事業：児童養護施設における「地域小規模児童養護施設」の新設、「分園型の小規模グループケア」の新設
- 助成金額：原則として300万円を上限 ※助成金額は、当該施設の事情や緊急性を勘案して決定
- 問合せ先：(公財) SBI子ども希望財団
TEL:03-6229-1003(平日9:00~17:45 土日・祝を除く)
FAX:03-3582-0686
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3621>



2017年度 第1回 日本女性 学習財団未来大賞レポート募集

- 締切日：平成29年8月31日(木) 当日消印有効
- 表彰：大賞1篇(奨励金10万円)
- 募集内容：テーマは「出発・再出発」。男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい/踏みだした人(踏みだす人を支援するグループも可)の思いやその過程などをまとめたレポート
- 問合せ先：(公財)日本女性学習財団
TEL:03-3434-7575 FAX:03-3434-8082
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3635>



第2回 弥栄音楽祭 村にオーケストラがやってきた!

- 開催日時：平成29年7月29日(土)14:00~17:00
(屋台村は10:00~14:00)
- 会場：ふるさと体験村特設ステージ (浜田市弥栄町三里
<http://www.yasakataikenmura.jp/>)
- 出演者：東京在住アマオーケストラ、MFO(みんなのふるさとオーケストラ)、オペラ歌手 藤井朋子氏
- チケット：前売り1,000円/当日1,500円/中学生以下無料
- 主催者：弥栄むらづくり実行委員会
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3610>



第28回 江の川釣り大会

- 日時：平成29年7月29日(土)7:00~受付、7:15~開会式
- 集合場所：信喜橋右岸(邑智郡美郷町潮村 国道375号線沿い)
- 参加料：大人500円/中学生以下300円(当日受付でお支払い)
※小学生以下は保護者同伴が原則
- 表彰：4部門①長さの部(ブラックバス、ブルーギル)②総数量の部③総重量の部④環境美化の部
- 申込切：7月26日(水)17:00(保険手続きの為、期日厳守)
- 主催者：美郷町観光協会 TEL:0855-75-1330
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3620>



秦佐八郎物語 講演 映画

- 日にち：平成29年8月20日(日)
- 時間：13:30~
- 会場：益田市立図書館2階 視聴覚室
- 目的：化学療法を初めて開発した、郷土の偉人「秦佐八郎博士」の研究開発に対する、真摯な態度、たゆまぬ努力、忍耐力などを学んでもらい、今後の学業の参考にしてもらおう
- 対象：夏休み中の学生等
- 主催者：特定非営利活動法人NPO-MASUDA
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3611>



伝統文化を守り続けた17年

大田市長久町土江を拠点に活動する「土江子ども神楽団」。一度は途絶えてしまった地域の伝統が町民の協力によって復活を遂げ、新たな歴史を刻んでいる。

神楽団の団長を務めるのは、楯義行さん。土江で生まれ育ち、幼いころから神楽は身近な存在だった。毎年、正月3日に仮屋行事が町内で開かれ、そこで子どもたちが神楽を披露するのが恒例だったという。しかし、少子化の影響を受け、平成7年に活動は休止へと追い込まれる。

子ども神楽が復活するきっかけとなったのは、地域活性化のために用意された県の助成金だった。当時自治会長を務めていた楯さんは、用途を検討するため、町内でアンケートを実施した。そこで多く挙がったのが、「子ども神楽を復活させてほしい」という声だった。

そんな町民たちの思いを受け、平成12年に土江子ども神楽団は8名で活動を再開した。神楽復活に懸ける楯さんの熱意に応え、町内のお年寄りたちも衣装作りを申し出てくれたという。「中には、どうせ続かないという声もありました」と振り返る楯さん。しかし、地道な活動を続けるうちに地域のイベントや慰労会での公演依頼が増え、結果的に認知度の向上とメンバーの増加につながった。

大きな転機が訪れたのは平成17年。その年開催の愛知万博に応募したところ採用され、ステージで神楽を披露する機会に恵まれたのだ。また、同年には大田市と姉妹都市の韓国大田（テジョン）

にも招かれ、神楽を披露した。当初は地域行事として復活した子ども神楽だったが、県外や海外からも依頼が来るようになり、気付けば年間60公演を行うまでになっていった。

そんな子ども神楽団には、意外にも大人の指導者がいない。最初は隣町で活動する大屋神楽社中の大人たちに指導を仰いだり、今では上級生の子どもたちが下級生のお手本だ。子どもたちの自立心を育てるため、極力大人は口出ししないというのが楯さんの方針だという。

最近では、町外から熱心に通う子どもたちも多い。かつては地域で身近なものとして親しまれてきた神楽だが、今では本当に神楽が好きなお子どもたちが町内外問わず集まり、練習に励んでいる。

一方で、町内の子どもたちをもっと増やしたいという思いもある。神楽団の活動を地域のみなさんに知ってもらうため、楯さんは「土江子ども神楽だより」を町内の全世帯へ配布している。10年以上に渡り、毎月発行しているというから驚きだ。

17年間旗振り役として神楽団の団長を務めてきた楯さんだが、今後の課題は自身の後継者育成だという。「高校生たちがやると言ってくれているが、今は自分たちが舞うことに忙しいからね」と笑う楯さん。しかし、神楽が好きで地元に戻ってきた子どももいるというから頼もしい。また、神楽団を卒業した子どもたちが、今度は大屋神楽社中で活躍するという、嬉しい相乗効果も生まれている。楯さんの地域と神楽を愛する気持ちは、きっと次の世代へと受け継がれることだろう。(E)



土江子ども神楽団
 かし よしゆき
 団長 楯 義行さん

1948年、大田市長久町生まれ。土江子ども神楽団団長のほか、今年3月までは石見銀山神楽連盟の会長を務めていた。現在は会長の座を退き、副会長として後継者の育成に尽力している。

団体の主な活動

神楽団が復活して、今年で17年目を迎える。現在は小学1年から中学3年までの子どもたち約40名が所属しており、町外から練習に通う子どもも少なくない。県外や海外にまで活動の舞台を広げ、年間の公演数は60回近くにのぼる。平成17年度地域づくり実践支援事業(チャレンジ事業)採択団体。公演情報は、HPに掲載中。
 HP: <http://tsuchie-kagura.jp/>



練習に励む子どもたち



大会で神楽を披露

県内 NPO 情報 H29.6.30 現在

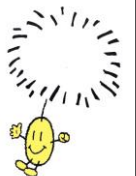
1	県内NPO法人数	全体	284
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		2
3	解散NPO法人数		1
4	しまね社会貢献基金登録団体数		65
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	41
		内レベル2	28

●今月の新設NPO法人
 NPO法人しまね子どもをたばこから守る会(松江市) 子どもを含め全ての世代に対し啓発・禁煙支援を行い、無煙社会の実現に寄与する。
 NPO法人アニマルレスキュードリームロード(出雲市) 啓発活動や飼育放棄・虐待されている犬猫等のいのちを守る活動を行う。

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)
 [松江事務局]
 〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
 TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
 E-mail: shimane@teiju.or.jp
 [石見事務局]
 〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク
 浜田 2階 石見産業支援センター「いわみびらっと」内
 TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
 E-mail: iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中!
 しまね県民活動支援センター(ふるさと島根定住財団)で検索してみてください♪